

0880 | 編集デザイン

2 単位 (通信授業 2 単位)

森山明子教授、西川陽子講師

授業の概要と目標

書籍は、記述されている内容に加え、編集やデザインというプロセスを通してその価値がさらに付加され、読者の目に触れるものとして制作されている。エディトリアルデザイン（編集デザイン）においては、文章・文字・図像など、紙面を構成する要素に対する専門的な知識と技術の習得が不可欠である。この科目では、紙面を構成している要素とその基本フォーマットを理解したあと、実制作として紙面をデザインする。印刷物の表層にとらわれず、その基となっている骨格を導き出す分析力を育て、そこで養われた最小単位へ還元する力を、自らが編集しデザインする力へと繋げる学習をする。

課題の概要

○通信授業課題 1

市販の文庫本や新書、単行本などから紙面を選び、文字について調べ、寸法を割り出す。書籍の紙面が、どのような規則性をもって編集・デザインされているか、実際の本で基本となる要素を調べ提出する。このように紙面デザインの分析をすることで、レイアウトの「基本フォーマット」について学ぶ。

○通信授業課題 2

与えられた5つの文章をA5サイズの小冊子の8ページに編集、紙面デザインし、印刷する。文章をいかに読みやすくするか、またその情感をどのように形にするのかを考える。課題1で調べた基本フォーマットの考え方を生かして、課題2では、自らが基本フォーマットを設計し紙面を制作する。

授業計画

[通信授業]

教科書『デザイン解体新書』と学習指導書『編集デザイン 平成29年度』による。

成績評価の方法

課題1では、紙面デザイン分析をして基本フォーマットが正しく導き出されているかを見る。

課題2では、基本フォーマットを決め、想定したデザインが計画的に実現されているかを見る。

評価は、課題1、課題2の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わないが、「タイポグラフィ」の単位を修得していることが望ましい。

最低限下記の条件を満たすコンピュータ、プリンターを有するかもしくは利用できること。

- ・レイアウトソフト(Adobe Illustrator)または、ほぼ同様の処理ができるワープロソフト。
- ・プリンター (最低A4判の用紙が出力できるもの。)

教材等

教科書：『デザイン解体新書』（監修＝工藤強勝 ワークスコーポレーション 2006年）

学習指導書：『編集デザイン 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）